

# 人権だより

2020.6

大洲高校人権委員会



6月19日実施のホームルーム活動について、人権委員の感想を一部紹介します。1年生は「差別の現実学ぶ」をテーマに学習をしました。2年生は「人権の歴史」解放令以後の歴史から学び、3年生は「同和問題の解決を目指して」と題して、就職差別解消の取組から輝いた生き方について考えました。



①解放の窓、②秘密の窓、③盲点の窓、④未知の窓により、新しい自分を見つけ出した。



リフレーミングなどを通して、人の見方について詳しく知ることができとても勉強になった。



ネガティブな事が考え方によってポジティブなことに変わるとい内容でした。この考え方を大切にしようと思う。



人々の人権を侵害することが差別だけど、改めて差別が絶対ダメだということを知ることができた。



差別やいじめのないクラスにするためには、クラスのみならずたくさん関わることが大切だと思った。



差別をなくすために尽力した人を、班ごとにまとめ発表した。どの班も頑張り、とてもいいホームルームになった。



安藤正楽について調べ、知識を多く身に付けることができた。部落差別をなくす意識が高まるとうれしい。



他人事だと思わず、一人ひとりが真摯に受け止め、自分にできることを考え、行動することで、差別が解消に向かう。



愛媛県内にも差別と闘った人がいることを初めて知って、県外の闘った人も調べたいと思った。



差別に立ち向かった人がいたことに心打たれた。自分に大切な事は、自分の意見を言うこと、理不尽なことは絶対にしないこと。



自分たちでビデオを作成した。実際の面接でも不適切な質問があるかもしれない。習ったことを生かせるよう頑張りたい。



気づかずに差別をしてしまったり、させてしまったりすることもあるので、一人ひとりが差別や人権問題において正しい知識を身に付けたい。



自分の努力ではどうしようもないことを理由に、不合格にされるのは絶対に間違っている。それをなくせるような行動を心がけたい。



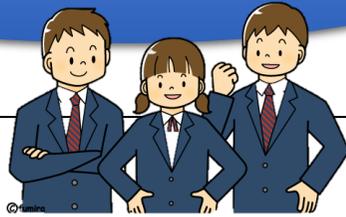
自分が答えてしまったら、答えたくない他の人も答えざるをえない状況になってしまう恐れがある。正しい知識が必要だ。



海外で使う履歴書では、差別を避けるために、性別や顔写真を必要としない。日本も変わってほしい。

# 人権委員「考」

最近のニュースから人権委員が考えたことです。



## SNS に関して

- SNS は便利でたくさんの人と繋がることができる場所です。しかし、裏を返せば誰でも言いたい放題できる場所でもあります。人を「傷つける」使い方ではなく人と「楽しく繋がれる」場所にしましょう。
- **フロレスラーの木村さんが SNS の誹謗中傷が原因で亡くなったと聞きました。SNS を使うときは、常にそういうことがあると思って生活していきたい。**
- 木村さんが亡くなったというニュースです。私もネットで投稿することがあるので、自分も加害者になりうるのだと思うととても怖いと思いました。相手の気持ちも考えられない人にはネットを使う資格は無い。
- ▶ ネットだから特定できないと思って、誹謗中傷の内容を書いて人を苦しめるのは絶対にあってはならない。
- 名前も顔もわからないことをいいことに多数の人が誹謗中傷の言葉を投げかけて人を傷つけるのは、本当に許せない。
- ▲ 画面の向こう側には感情を持った人間がいる事を忘れてはいけない。
- 2018年度、高校でいじめとして認知した117件のうち20%がパソコンや携帯などで誹謗中傷や嫌なことをされたという内容です。
- ▽ 名前も顔もわからないのといいいことに、多数の人が誹謗中傷の言葉を投げかけて人と傷つけるのは、本当に許せない。
- ◆ 言葉はナイフよりも凶器になる。体の傷は治っても、心の傷は一生消えることはないと思う。誰も傷つかない世界になってほしい。

## コロナに関して

- しっかりした知識を持ち、相手を思い合うことが大切だ。
- ▲ 誹謗中傷、心ない書き込み、学校でのいじめ。国民が一丸となって感染の拡大と闘うべきときに、不当な差別や偏見はあってはならない。
- 配達の仕事をしている人が消毒液を掛けられた。その人は一日中マスクをして、耳の裏がかぶれ、とても痛い思いをしている。その行為は差別になるのではないだろうか？

## 拉致問題に関して

- 横田滋さんが亡くなりました。一刻も早くめぐみさんが帰国し、普通の生活を送ることを願います。そうなることで、滋さんの活動も報われると思います。

## 人種差別に関して

- ◆ **アメリカに住む多くの黒人が人種差別と闘っています。よりよい世の中にしていくためには、他の人種の人を受け入れ、差別者の意識を変えていかなければいけない。**

## コラム

# 身元調査・就職差別



身元調査って話知ってる？



今でもそんなことあるのかなあ？

結婚や就職の時に、相手の出身とか調べる事だよ



その人自身の評価がされるように、高校生は就職や進学受験の面接で、「差別につながるおそれのある質問」には「答えない」ようにしています。

答えた場合にもきちんと学校へ報告します。

**20年くらい前の忘れることのない記憶です。**

**ある高校生が県外の企業の面接で「長男かどうか」を聞かれました。**

**その高校生は質問に答えませんでした。**

**後日彼に、なぜ答えなかったのか尋ねたところ、**

**「ぼくは次男だからいいけど他の受験生の中には答えにくい人もいたから」**

**と、…本当にかっこいい答えだと思います。**

**(かつて県外の企業では、長男はいずれ地元に戻るからと敬遠されることがありました)**

逃げれるものが逃げたら、逃げれな

いものはもっと苦しくなるのう。

